

樹氷とオーロラと北斗（写真）

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

11月に入って、スウェーデン北部の北極圏は雪景色になりました。木々には樹氷が見られ、すっかり冬の景色に変わっています。その上にはオーロラが舞っています。夜の時間が長くなり、オーロラが見えている時間も長くなってきました。そのオーロラ越しに見えるのは北斗七星です。日本ではほとんどの地域で北斗七星の一部が地平線下に沈みますが、北極圏では終極星となり、一年中沈みません。写真のように北斗が横に寝たまま地平線よりも上に見えるのです。

地球の「樹氷」、地球と宇宙の渚に見える「オーロラ」、そして深宇宙の「北斗七星」その「役者」が揃った美しい光景です。

(2023年11月中旬／スウェーデン・ヨックモック郡・ポルユス駅／東京から遠隔観測)

